

宇和島唯一の女性牛主

麻生瑞穂さん

## 強くて愛らしい闘牛の魅力 もっとたくさんの人に伝えたい



普段は看護師として働いている麻生さんは、大人になって初めて闘牛を見たそうです。その迫力に心奪われ、普段の牛はどうなんだろうと気になるようになりました。知り合いの牛舎に足を運び、のんびり穏やかな牛の姿を見た麻生さんは、そのギャップにますます魅了されました。何度も通ううちに世話を手伝うようになり、自分が世話した牛が闘う姿を見てさらに虜になったそうです。そうした中、縁があり自分の牛を手に入れることになりました。全責任を負うというプレッシャーを感じる一方、女性でもできるといふ姿を見せたいと意気込み、仕事終わりに毎日世話をしています。

麻生さんは、闘牛の魅力は「牛の本能が垣間見れること」と言います。普段は大人しい牛が試合になると本能むき出しでぶつかり合う、その迫力が闘牛の醍醐味です。しかし牛の数はどんどん減っているそうで、年5回だった大会も今年から4回になりました。そうした中、10月には全国闘牛サミットが宇和島で開催されます。「自分の姿を見て少しでも闘牛に興味を持ってもらえれば」と話す麻生さんは、今日もたっぷりの愛情を牛に注ぎます。